

同時  
開催

# 新元号「令和」

会場／当館1階エントランスホール

「令和」は、奈良時代の『万葉集』の巻五にある「初春の令月にして 気淑く風和ぐ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の 香を薫らす」によります。

この歌は、大宰府政庁（福岡県太宰府市）の長官であった大伴旅人（公卿・歌人）の邸宅で開かれた「梅花の宴」のさいに詠まれた歌三十二首の序文につけられています。また、太宰府天満宮は「天神様」として親しまれている菅原道真公と「飛梅」伝説で知られる梅の名所であり、現在この地が注目を集めています。

おおい町内にも「飛梅」の伝説があり、大島に舟で上陸した菅原道真公が梅を植えたとされる「とびうめ」が生育しています。これらの伝説などをパネルで紹介します。



宝楽寺の  
とびうめ

新元号を  
発表している様子の  
顔出しパネルで  
記念の一枚！

同時  
開催

# 「渋沢栄一と 青い目の人形」

会場／当館1階企画展示室

2024年度から使用される1万円札・5千円札・千円札のデザインが発表されました。1万円札の肖像には、日本経済の近代化を進めた実業家 渋沢栄一（1840-1931）が選ばれました。渋沢は多種多様な企業の設立・経営に関わり、教育機関や社会公共事業の支援などにも尽力しました。

昭和2年（1927）、排日移民問題が過熱するアメリカと日本の児童たちの間に友情交流を結ぶため、アメリカから約12,000体の人形が、日本から58体の日本人形が送られました。この事業に尽力したのが渋沢でしたが、太平洋戦争で敵国となり、多くの人形は処分され、現在では全国で約300体が現存しています。

本展では、本郷小学校が所蔵する福井県内唯一の青い目の人形を展示し、渋沢栄一の功績などについてご紹介します。



オーラ・  
ジョンソン



## おおい町立郷土史料館 松木庄吉美術記念館

〒919-2104 福井県大飯郡おおい町成和 2-1-1  
TEL.0770-77-2820 FAX.0770-77-2821  
■ JR小浜線、若狭本郷駅下車、徒歩約15分

